



介護職の魅力発信に向けた 取組 (H29年度)



鹿児島県 保健福祉部介護福祉課

1 フェイスブックにおける介護職員等の紹介①

○ 対 象

- ① 県内の介護施設・事業所で働く若手介護職員等
- ② 県内の介護福祉士養成施設へ通う介護職を目指す学生

○ これまでの取組状況 (H30.2.2現在)

① 開設

平成28年1月15日

② これまでの紹介人数

県内31法人・4校 61名(養成施設学生8名を含む)

※ その他介護関連情報もあわせて紹介

○ 配信状況 (H30.1.31現在)

いいね! 742人



1 フェイスブックにおける介護職員等の紹介②

↓ フェイスブックページ

↓ PRチラシ

(県内コンビニやハローワークへ配付)

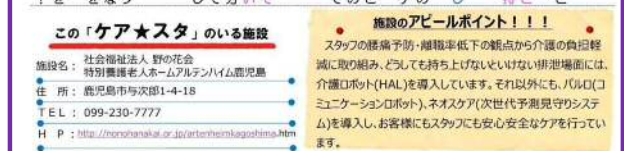


← ↓ 研修会や事業所についても紹介



2

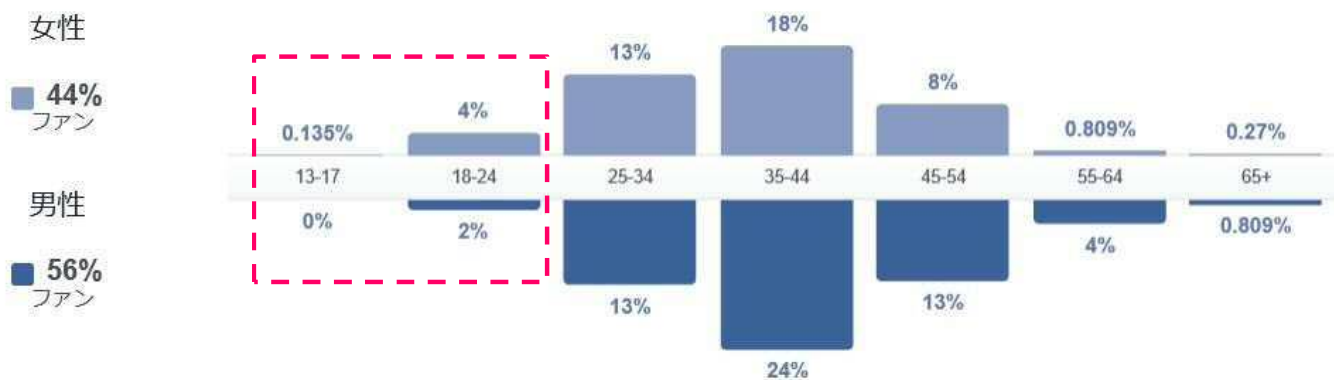
1 フェイスブックにおける介護職員等の紹介③



3

1. フェイスブックにおける介護職員等の紹介④

○ 県介護福祉課フェイスブックの利用者層データ



(課題) 学生を中心とする若者に対するアピールが不十分

- 事業所における職場体験の受入れや地域住民等を対象としたイベントの開催(介護職員の「顔」が見えるPR)
- 人が集まる場所(商業施設等)でのPR
- Twitter等, 他のSNSの活用やテレビ等による広報の継続

4

2 ケア★スタ サミット(意見交換会)①

○ 目的

- 若手介護職員等と県とが一体となり、介護職の魅力を発信するとともに、介護人材確保に向け必要と考える取組等についての率直な意見を聴取し、今後の取組に反映する。
- 若手介護職員同士のネットワークづくりを促進することにより、更なるモチベーション向上や好事例の水平展開等を図る。



5

2 ケア★スタ サミット(意見交換会)②

○これまでの内容

- ・ 第1回(平成28年7月6日) 介護職の魅力発信に向けた意見交換
- ・ 第2回(平成29年1月11日) 介護職の新3Kを考えよう!
- ・ 第3回(平成29年7月27日) 魅力ある職場づくりのために



人の温もりや命の重さを感じることができるのが介護職の魅力であり、他の職業では味わうことのできない奥深さがあります。

利用者様からの感謝の言葉に加え、その背景にいるご家族と連携が図れたときにやりがいを実感します。人の人生の1ページに関われる喜びは、介護職ならではの魅力!



介護職の仲間を増やすためには、介護に関わるような「楽しいこと」を絡めていくことが重要です。そういったPRIに、自分たちも協力できるのではないかと思います。



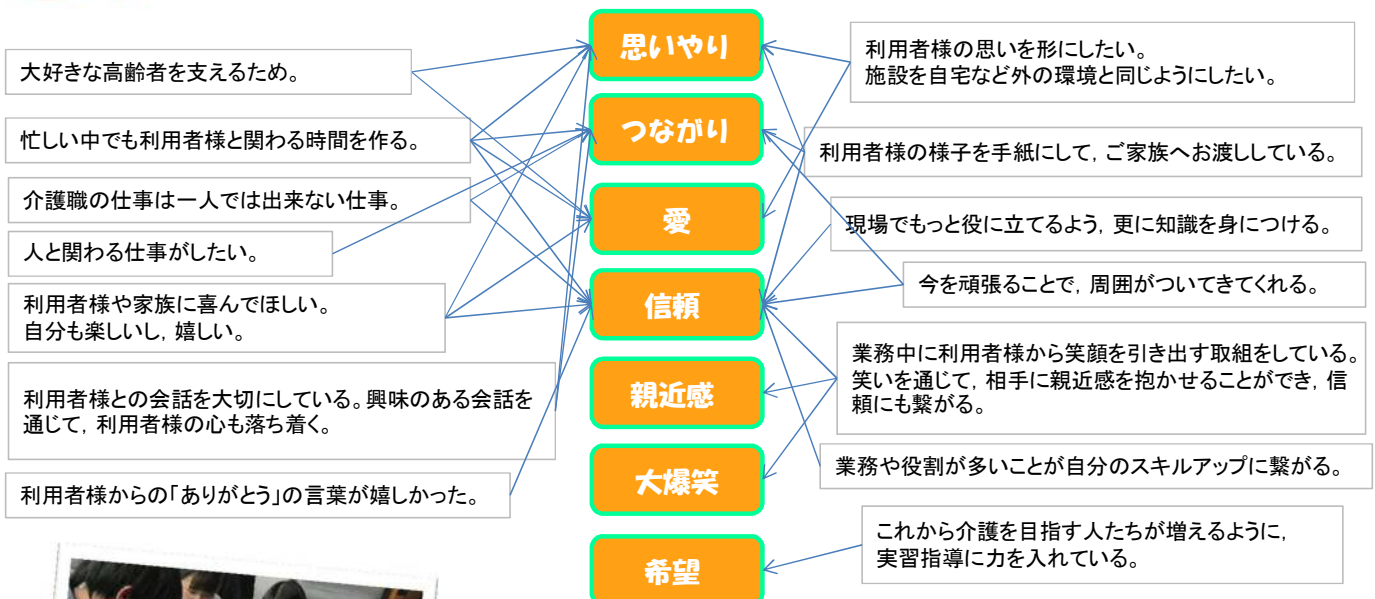
職場では、園児や小中学生とのふれあいの機会が多くあり、利用者様にとっても楽しみの一つとなっています。自分の将来を決める時期に、高齢者との壁があまりないほうが、介護職に興味を持ちやすいと思います。

(第1回ケア★スタサミットより)

6

2 ケア★スタ サミット(意見交換会)③

鹿児島県のケア★スタメンバーとして選定した7つのキーワード



- ・ 「ご家族や利用者さまの声」を紹介することで、介護に対するイメージも変わってくるのではないかな。
- ・ 介護職に就く前と就いた後でギャップがあった。そういったギャップを紹介してはどうか。

(第2回ケア★スタサミットより)

7

3 県政広報番組を活用したPR②

★かごしま“ひと”最前線(KKB)

ケア★スタ

～若手ホームヘルパーの活躍～

○放送日時

6月24日(土)17:55～18:00

○内 容

☆ 重 はるかさん(あおぞら介護ステーション)

- ・ 訪問介護において「心がけていること」等をインタビュー。
- ・ 実際にサービスを提供する様子を紹介し、介護職の必要性や訪問介護業務(ホームヘルパー)のイメージ等を発信。



10

3 県政広報番組を活用したPR③

★かごしま“ひと”最前線(KKB)

ケア★スタ

～若手介護福祉士の活躍～

○放送日時

9月2日(土)17:55～18:00

○内 容

☆ 古里 麻実さん(リハケアガーデン加治木)

- ・ 利用者の生きがいや意欲向上に繋がる「社会参加活動」に取り組む様子。
- ・ 介護職として働く中で感じること、発見したこと(高齢者に対する思い込み、実はできることがたくさんある等)。



11

3 県政広報番組を活用したPR④

★ふるさとかごしま(MBC)
介護の魅力発見！
～地域と共に、介護の世界～

○放送日時: 11月4日(土)
11:15～11:30

○内 容

- ① 介護者と利用者の両方にやさしい「支援型サービス」(ノーリフトケアの現場から)(特別養護老人ホーム朋愛園)
- ② 運動を通じた介護予防・日常生活支援の取組(厚地健康増進センター) ☆ 大田 勝也さん
- ③ 介護職を目指す未来のケアスタの育成(県立薩摩中央高校)
- ④ 認知症カフェ(小規模多機能ホームすばる)



12

3 県政広報番組を活用したPR⑤

★かごメン！(KYT)
みんなで知ろう！考えよう！介護
の未来～介護ふれあいフェスタ2017～

○放送日時
11月19日(日)11:45～50

○内 容

- ・ 介護ふれあいフェスタ(11/5)の開催内容
- ・ 若手介護職員や将来介護職を目指す学生の声, リポーターの介護ロボット体験などを紹介



13

3 県政広報番組を活用したPR⑥

★かごしま“ひと”最前線(KKB)

ケア★スタ

～若手介護福祉士の活躍～

○放送日時

12月23日(土)17:55～18:00

○内 容

☆ 仮屋 毅弘さん(指宿やすらぎ園)

- ・ 介護人材確保に向け、高校生を対象に、介護職の魅力や仕事の内容などを自らの言葉で発信
- ・ 企業ガイダンスに参加した高校生へのインタビュー



14

4 広報紙(誌)を活用したPR①

★県政かわら版(平成29年10月)

☆ 仮屋 毅弘さん
(介護老人保健施設
指宿やすらぎ園)

○県内全世帯配布
(74.5万部)

みんなが元気な鹿児島を作るために
～「保育士」と「介護職員」の確保に取り組んでいます～

県では、子どもからお年寄りまで全ての県民が安心して明るい展望を持って暮らせる社会を目指しています。

介護職員

知ってほしい!介護職の魅力

介護は、一人ひとり、心身の状況に合わせて、お世話させていただく内容が異なるため、難しいと感じる反面、そこにやりがいを感じます!

入所者様とお話をすると、自分の知らない話を聞くことができ、世界観が広がります。また、入所者様の笑顔を見ると、自分自身も自然と笑顔になりますね。

これからもたくさんの笑顔に囲まれるような仕事をしたいです!

医療法人全隆会
介護老人保健施設
指宿やすらぎ園
介護福祉士 仮屋 毅弘さん

いま 介護職員が求められています

本県では、高齢化の進行が速く、今後一層、高齢者の割合は高くなっていきます。団塊の世代が後期高齢者となる平成37年に向け、介護職員を安定的に確保・定着させていくことが求められています。

【本県の人口の見通し】 国立社会保障・人口問題研究所 資料

	平成27年	平成37年	平成47年	増減
人口	約165万人	約152万人	約139万人	▲約26万人
65歳以上高齢者数	約49万人	約52万人	約50万人	±約1万人

介護職員の皆さんが働きやすい環境をつくりまします

賃金をアップ!

介護職員のキャリアアップに取り組む事業所に「介護職員処遇改善加算」(※)を給付しています。

○介護職員一人当たりの加算額
月額3万7千円(上限)

※加算には区分があり、賃金体系の整備や職場環境の改善など、一定の要件を満たす必要があります。

再就職を応援!

県内にお住まいの方で、過去に介護職員として1年以上の勤務経験があり、介護職員として再就職される方に準備金の貸し付けを行います。

介護職員として2年間継続して働くこと、貸付金の返還が免除されます。

○貸付金額
20万円以内(1人1回限り)
※詳細は、お問い合わせください。

○問い合わせ先 県社会福祉協議会
☎099(214)3701

県庁介護福祉課フェイスブック「ケア★スタ」で、県内で活躍する介護職員の仕事を紹介します!

問い合わせ先 県庁介護福祉課 ☎099(286)2687

15

4 広報紙(誌)を活用したPR②

★県政かわら版(平成29年10月)へのご意見・ご感想

- ・ 保育士, 介護職員の不足は大きな問題だと思いました。両者とも資格の必要な職種ですが, 資格を取得するにも短大や専門学校に行くなど大きなお金がかかり, 途中から資格を取ろうと思ってもなかなか進み出せない現状だと思います。資格取得しやすいよう, なにか支援があればいいなと思いました。
- ・ 保育士, 介護職員の記事なども, 鹿児島にとって大きな問題だと再確認しました。
- ・ 「保育士」と「介護職員」の確保について勉強になりました。スタッフの皆さんこれからも御仕事頑張ってください。
- ・ 介護の仕事は大変ですが, 続けられるのは利用者さんの笑顔があるから。無理せず続けていきたいです。

16

4 広報紙(誌)を活用したPR③

★ グラフかごしま(平成30年1月号) きらり★おごじょ

☆古田 紗恵さん(特別養護老人ホームはまかせ園)

- ・ 16,000部発行
- ・ 定期購読のほか, 銀行, 病院, 郵便局, 図書館等の公共機関で閲覧可能。

キラリ★おごじょ

県内各地で活躍する、キラリと輝く女性たちにお話を聞きました。



社会福祉法人深州会
特別養護老人ホーム
はまかせ園 介護福祉士
古田 紗恵さん

社会福祉法人深州会
特別養護老人ホームはまかせ園
薩摩川内市西方町 3111
TEL.0996-28-1010

笑顔で接し、笑顔に癒されています

大好きな祖父母が年を重ねるにつれて体が弱っていく姿を見て、支えになりたいと思ったことが、介護福祉士を目指したきっかけです。現在、老人ホームを利用していただく方々の入浴や排泄、食事など日常生活の支援や、健康管理などを担当しています。要たきりや認知症の方も多く、私たちの施設が「ついのみか」になるケースも少なくありません。利用者の方が大切な毎日を心地よく過ごせるよう、笑顔で接することを心がけています。

介護は、人の命を預かる責任の重い仕事で、体力も必要となります。決して楽な仕事とは言えませんが、人として学ぶことも多く、利用者の方から笑顔や「ありがとう」という感謝の言葉をいただく時、やりがいを感じます。自分の

今後、高齢者のさらなる増加が予想されます。介護人材を確保するため、若手介護職員と異なり、一人ひとりの魅力を発揮する「ケア★スタサミット」が2016年にスタートしました。私も積極的にこの取り組みに参加しています。一人でも多くの方に介護に関心を持っていただきたいと思います。



見晴らしのいい高台に建つ施設からは東シオ喜が一瞥でき、明るい施設で楽しい時間を過ごせる。

AR 専用アプリで、このマークがある画像にスマートフォンをかざすとメッセージ動画が再生されます。詳しくは3ページ(前次)をご参照ください。

Graph KAGOSHIMA 22

17

5 介護の仕事理解促進事業(基金事業)

○事業概要

介護に関するイベントの開催, 小中学校・高校の訪問, 介護事業所での介護体験等を通じて, 介護(職)に関する魅力を, 若い世代をはじめ多様な人材層に伝達する。

○主な事業

(1)県直営	<ul style="list-style-type: none"> かごしま介護フェスタ開催事業
(2)委託事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域ジュニア福祉体験教室開催事業 未来の福祉・介護担い手スタートアップ事業 介護の仕事チャレンジ事業 ほか
(3)補助事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や学生等に対する介護への理解促進事業 養成施設等の介護職の仕事PR協働事業 かごしま介護技能コンテスト開催事業 ほか

18

6 ケア★スタ 応援歌 (※H29年度)

『Share with you～かけがえのない時を～』



Facebookで紹介した若手介護職員の皆様のご協力をいただき、介護職のイメージアップのため介護職員の気持ちを表現した応援ソングを制作。

YouTubeをはじめ、県ホームページでも紹介。



19